

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2025年第11週
(3月10日～3月16日)

- * 2025年3月19日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 感染症豆知識「百日咳と妊娠中のワクチン接種」も掲載しています。

令和7年(2025年)3月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213 (直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数 (一類～四類)

2025年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		8週	9週	10週	11週	年累計
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	痘そう					
	南米出血熱					
	ペスト					
	マールブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	結核	42	37	29	38	371
	ジフテリア					
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}					
	中東呼吸器症候群 ^{*2}					
	鳥インフルエンザ(H5N1)					
	鳥インフルエンザ(H7N9)					
三類	コレラ					
	細菌性赤痢				1	2
	腸管出血性大腸菌感染症	6	1	1	2	23
	腸チフス					1
	パラチフス					
四類	E型肝炎	1	3	4	2	23
	ウエストナイル熱					
	A型肝炎			1		3
	エキノコックス症					1
	エムポックス					
	黄熱					
	オウム病			1		1
	オムスク出血熱					
	回帰熱					
	キャサヌル森林病					
	Q熱					
	狂犬病					
	コクシジオイデス症					
	ジカウイルス感染症					
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}					
	腎症候性出血熱					
	西部ウマ脳炎					
	ダニ媒介脳炎					
	炭疽					
	チクングニア熱					
つつが虫病					3	
デング熱	1	1	5		15	
東部ウマ脳炎						
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)						

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		8週	9週	10週	11週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症					
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	鼻疽					
	ブルセラ症					
	ベネズエラウマ脳炎					
	ヘンドラウイルス感染症					
	発しんチフス					
	ボツリヌス症					
	マラリア					2
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
	リフトバレー熱					
	類鼻疽					
	レジオネラ症		2	2	5	32
レプトスピラ症						
ロッキー山紅斑熱						

2025/3/19集計

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

<二類感染症>

結核 38件 患者 22件(肺結核 15件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 16件、年齢は5歳未満 3件、20代 7件、30代 2件、50代 6件、60代 4件、70代 10件、80代 3件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 24件、ネパール 1件、パキスタン 1件、フィリピン 1件、ベトナム 1件、不明 10件であった。

<三類感染症>

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はsonnei (D群)、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、血清型不明 VT1 1件、年齢は5歳未満 1件、10代 1件、推定感染地は国内 1件、韓国 1件、推定感染経路は経口感染 1件、経口感染又は接触感染 1件であった。

<四類感染症>

E型肝炎 2件 患者 1件、無症状病原体保有者 1件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

レジオネラ症 5件 患者 5件、病型は肺炎型 5件、年齢は30代 1件、60代 2件、70代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 1件、不明 4件、推定感染経路は不明 5件であった。

<五類感染症>

アメーバ赤痢 3件 病型は腸管 2件、腸管外 1件、年齢は30代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 1件、不明 2件、推定感染経路は不明 3件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 5件(うち死亡 1件) 病原菌は*Klebsiella aerogenes* 3件、*Enterobacter cloacae* complex 1件、*Klebsiella pneumoniae* 1件、年齢は60代 3件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は以前からの保菌 2件、医療器具関連感染(人工呼吸器) 1件、手術部位感染 1件、不明 1件であった。

急性脳炎 1件 病原体は不明、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染であった。

クリプトスポリジウム症 1件 年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

全数把握対象疾患 報告数 (五類)

2025年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				
		8週	9週	10週	11週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢		3	3	3	21
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1	3		12
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	6	6	5	39
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					
	急性脳炎 *2	1			1	16
	クリプトスポリジウム症				1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	1	3	3	33
	後天性免疫不全症候群	4	2	6	3	45
	ジアルジア症					2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		4	1		16
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	10	3	6	9	119
	水痘(入院例に限る)	1	1	3	5	20
	先天性風しん症候群					
	梅毒	81	75	73	71	722
	播種性クリプトコックス症					6
	破傷風			2	1	4
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症					
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3
百日咳	32	31	24	42	267	
風しん					2	
麻しん				2	3	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						

2025/3/19集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件(うち死亡 2件) 血清群はA群 1件、G群 2件、年齢は70代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は創傷感染 2件、不明 1件であった。

後天性免疫不全症候群 3件 病型は無症候キャリア 3件、性別は男性 3件、年齢は20代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、両性間 1件)、不明 1件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 9件 血清型は未実施 9件、年齢は5歳未満 1件、50代 2件、70代 3件、80代 3件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、不明 7件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明4回接種済み 1件、接種なし 4件、不明 4件であった。

水痘(入院例) 5件 病型は臨床診断例 4件、検査診断例 1件、年齢は5～9歳 1件、20代 2件、30代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、接触感染 2件、不明 2件、水痘ワクチン接種歴は2回接種済み 1件、接種なし 1件、不明 3件であった。

梅毒 71件 患者 46件(早期顕症梅毒Ⅰ期 22件、早期顕症梅毒Ⅱ期 24件)、無症候梅毒 25件、性別は男性 43件、女性 28件、年齢は10代 4件、20代 33件、30代 13件、40代 12件、50代 8件、60代 1件、推定感染地は国内 57件、渡航先不明 1件、不明 13件、推定感染経路は性的接触 63件(同性間 11件、異性間 39件、両性間 2件、性別不明 11件)、不明 8件であった。

破傷風 1件 病型は臨床診断例、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染、破傷風ワクチン接種歴は接種なしであった。

百日咳 42件 年齢は5歳未満 2件、5～9歳 7件、10代 23件、30代 2件、40代 5件、50代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 34件、不明 8件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 20件、3回接種済み 3件、接種なし 1件、不明 18件であった。

麻しん 2件 病型は検査診断例 1件、修飾麻しん 1件、年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、麻しん含有ワクチン接種歴は2回接種済み 1件、1回接種済み 1件であった。

※ 第9週該当分として〔五類〕梅毒 1件の追加報告があった。

※ 第10週該当分として〔四類〕デング熱 1件、〔五類〕カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件、後天性免疫不全症候群 1件、梅毒 16件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2025年11週

上段:報告数 下段:定点当たり

定点種別	対象疾患	2025年				報告医療機関数	定点医療機関数
		8週	9週	10週	11週		
小児科	RSウイルス感染症	181	157	149	141	263	264
		0.69	0.59	0.56	0.54		
	咽頭結膜熱	35	28	38	31		
		0.13	0.11	0.14	0.12		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	646	489	663	623		
		2.45	1.85	2.51	2.37		
	感染性胃腸炎	3,530	3,441	3,357	3,312		
		13.37	13.03	12.72	12.59		
	水痘	93	87	104	145		
		0.35	0.33	0.39	0.55		
	手足口病	9	12	4	12		
		0.03	0.05	0.02	0.05		
	伝染性紅斑	254	221	200	230		
		0.96	0.84	0.76	0.87		
突発性発しん	45	45	55	59			
	0.17	0.17	0.21	0.22			
ヘルパンギーナ	1	2	3	4			
	0.00	0.01	0.01	0.02			
流行性耳下腺炎	8	8	19	8			
	0.03	0.03	0.07	0.03			
川崎病 ^{*1}	6	6	4	2			
	0.02	0.02	0.02	0.01			
不明発しん症 ^{*1}	15	10	13	9			
	0.06	0.04	0.05	0.03			
インフルエンザ/COVID-19	インフルエンザ ^{*2}	658	589	772	865	418	419
		1.57	1.41	1.84	2.07		
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1,314	1,158	1,173	1,133		
		3.14	2.76	2.80	2.71		
眼科	急性出血性結膜炎			1		39	39
				0.03			
	流行性角結膜炎	20	17	27	20		
		0.51	0.44	0.69	0.51		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}		3			25	25
			0.12				
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎	8	4	5	3		
		0.32	0.16	0.20	0.12		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	1			1		
		0.04			0.04		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) ^{*4}	9	12	8	7		
	0.36	0.48	0.32	0.28			
インフルエンザ入院	11	11	8	8			
	0.44	0.44	0.32	0.32			
COVID-19入院	102	137	85	79			
	4.08	5.48	3.40	3.16			

2025/3/19集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、2.07で今後の動向に注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、12.59で今後の動向に注意が必要です。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2025年11週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
～5か月	15			18				3				
6～11か月	25		2	106	2	1	1	12			1	
1歳	54	12	14	311	2	3	9	30				1
2歳	22	3	26	256	1		19	6			1	
3歳	8	3	38	247	1		24	5		1		1
4歳	7	6	69	280	3	4	34	2		1		
5歳	6		71	273	6	2	35		1	2		2
6歳		3	79	304	8		43	1	1	2		2
7歳	1	2	75	252	24		19					
8歳			60	209	14		19		1			1
9歳		2	63	184	31		18					
10～14歳	3		98	401	48	1	7			1		1
15～19歳			1	98	2							
20～29歳			27	373	3	1	2		1	1		1
30～39歳												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳												
80歳以上												
合計	141	31	623	3,312	145	12	230	59	4	8	2	9
先週比	-8	-7	-40	-45	41	8	30	4	1	-11	-2	-4

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹							
	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ入院	COVID-19入院	
～5か月	2	8										
6～11か月	7	24										1
1歳	19	32										1
2歳	22	17										1
3歳	25	20		1			1		2			
4歳	39	20		1								
5歳	55	17					1					
6歳	54	22		1								
7歳	58	14								1		1
8歳	53	23							2			
9歳	32	9					1			1		
10～14歳	228	126							3	2		2
15～19歳	100	98		2								1
20～29歳	50	77		4								2
30～39歳	33	137		1				1				3
40～49歳	41	152		5						1		2
50～59歳	29	141		4						1		6
60～69歳	10	89		1						2		8
70～79歳	3	55										16
80歳以上	5	52										35
合計	865	1,133		20			3	1	7	8		79
先週比	93	-40	-1	-7			-2	1	-1			-6

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2025年11週

	小児科											
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症
千代田	0.33			1.00			0.33					0.33
中央区			2.00	9.67		0.67	0.67	0.33				
みなと	0.50		1.67	14.17	0.17	0.17	1.00	0.17		0.17	0.17	
新宿区	0.88	0.13	1.88	6.25	0.25	0.13	0.25	0.13				
文京		0.50	3.25	19.00	1.25		0.25	0.25				0.25
台東	0.75		5.00	21.00	0.50		1.00			0.50		
墨田区	0.80		1.00	10.20				0.20				
江東区	0.11	0.11	2.56	15.56	0.67		0.33	0.44		0.11		
品川区	0.13	0.13	1.75	8.75	0.13		0.75	0.13				
目黒区	0.60		2.40	9.60	0.80							0.20
大田区	0.85	0.08	1.92	15.08	1.23		0.85	0.38			0.08	
世田谷	0.27	0.07	2.20	11.40	0.20		0.93	0.20		0.07		0.13
渋谷区	0.75		0.50	8.00	0.25		0.25					
中野区	0.50		4.83	16.67	0.50	0.17	0.83	0.17				
杉並	0.55		1.45	10.18	1.00		0.64	0.09				
池袋	1.20	0.20	2.00	15.20	0.80	0.20			0.20			
北区	0.43		3.71	18.29			0.43	0.43				
荒川区	2.50		3.00	21.25	1.75		2.25	0.75				
板橋区	0.10		0.90	13.30	0.40		0.20	0.10				
練馬区	0.23		4.38	10.85	0.08	0.08	0.77	0.23		0.08		
足立	1.08	0.31	1.77	11.92	0.23		1.15	0.54	0.23			
葛飾区	0.25		0.38	12.13	0.88	0.13	2.25	0.13				
江戸川	1.08	0.50	1.58	15.92	0.33		0.75	0.08				0.08
八王子市	1.09	0.45	2.45	18.09	0.09	0.18	2.18	0.18				0.18
町田市	0.38		2.13	11.75	0.75		0.38	0.38				
西多摩			0.38	8.25	0.50		1.00					
南多摩	0.22	0.11	1.67	9.56	0.44		0.56	0.22		0.11		
多摩立川	0.43		3.36	8.79	0.14		1.07	0.07				
多摩府中	0.24	0.14	2.95	12.52	1.81	0.05	0.38	0.24				
多摩小平	0.73	0.27	4.53	15.20	0.33	0.07	2.53	0.47		0.07		0.07
島しょ			2.00									
東京都	0.54	0.12	2.37	12.59	0.55	0.05	0.87	0.22	0.02	0.03	0.01	0.03

	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア肺 炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	1.25	3.25									1.50
中央区	0.40	0.40									
みなど	4.11	1.78								2.00	
新宿区	0.92	2.33		0.50							3.50
文京	1.86	1.86						1.00			7.00
台東	1.14	2.43									
墨田区	1.75	2.38							1.00		4.00
江東区	2.14	1.29		1.00							
品川区	1.25	2.08									
目黒区	1.88	1.63									
大田区	2.33	2.29									
世田谷	1.58	3.21		1.00							2.00
渋谷区	0.71	2.14		1.00							
中野区	1.40	4.30									
杉並	1.53	2.12					0.50				4.50
池袋	1.88	3.75		2.00					3.00		
北区	1.45	4.09									
荒川区	6.29	2.57									
板橋区	1.50	2.19									
練馬区	1.48	3.29		1.00							
足立	1.55	3.30									
葛飾区	1.62	2.46		2.00					2.00		9.00
江戸川	4.16	2.63		3.50							
八王子市	1.17	3.22									7.00
町田市	1.08	2.00									
西多摩	1.86	2.36					1.00			1.00	5.00
南多摩	1.50	2.43									
多摩立川	2.52	3.48									1.00
多摩府中	3.39	2.85		0.33						1.67	4.67
多摩小平	3.17	3.52		0.50			0.50		0.50		4.50
島しょ	1.00	3.00									

東京都	2.07	2.71		0.51			0.12	0.04	0.28	0.32	3.16
-----	------	------	--	------	--	--	------	------	------	------	------

注:表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2025年11週

	小児科											
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症
千代田	1			3			1					1
中央区			6	29		2	2	1				
みなと	3		10	85	1	1	6	1		1	1	
新宿区	7	1	15	50	2	1	2	1				
文京		2	13	76	5		1	1				1
台東	3		20	84	2		4			2		
墨田区	4		5	51				1				
江東区	1	1	23	140	6		3	4		1		
品川区	1	1	14	70	1		6	1				
目黒区	3		12	48	4							1
大田区	11	1	25	196	16		11	5			1	
世田谷	4	1	33	171	3		14	3		1		2
渋谷区	3		2	32	1		1					
中野区	3		29	100	3	1	5	1				
杉並	6		16	112	11		7	1				
池袋	6	1	10	76	4	1			1			
北区	3		26	128			3	3				
荒川区	10		12	85	7		9	3				
板橋区	1		9	133	4		2	1				
練馬区	3		57	141	1	1	10	3		1		
足立	14	4	23	155	3		15	7	3			
葛飾区	2		3	97	7	1	18	1				
江戸川	13	6	19	191	4		9	1				1
八王子市	12	5	27	199	1	2	24	2				2
町田市	3		17	94	6		3	3				
西多摩			3	66	4		8					
南多摩	2	1	15	86	4		5	2		1		
多摩立川	6		47	123	2		15	1				
多摩府中	5	3	62	263	38	1	8	5				
多摩小平	11	4	68	228	5	1	38	7		1		1
島しょ			2									
東京都合計	141	31	623	3,312	145	12	230	59	4	8	2	9

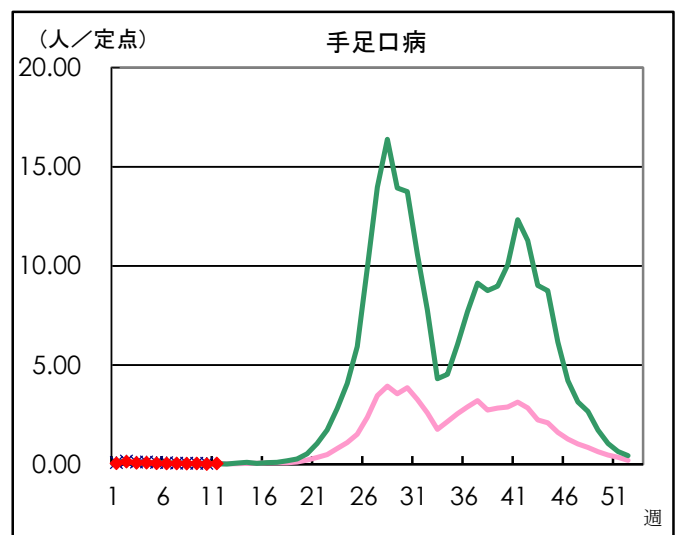
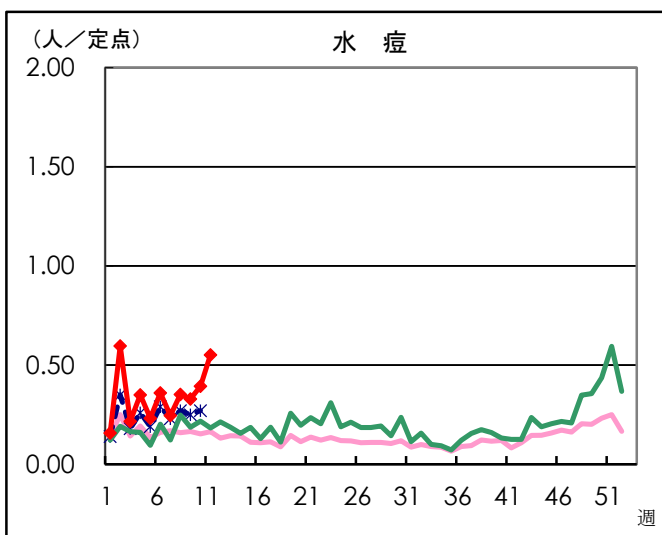
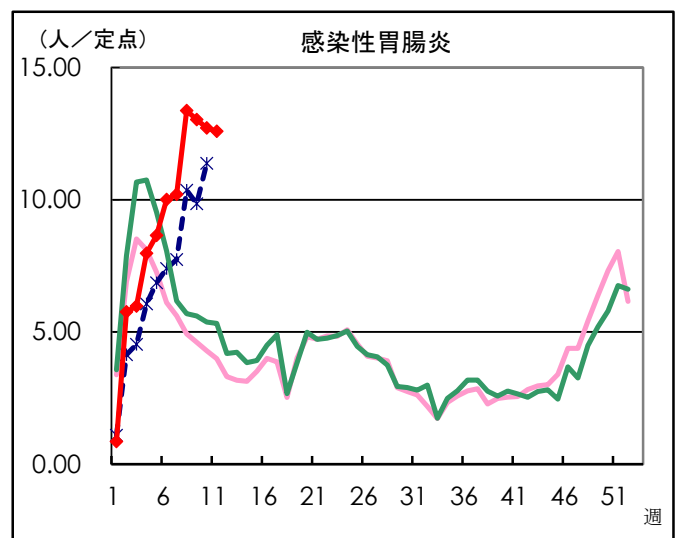
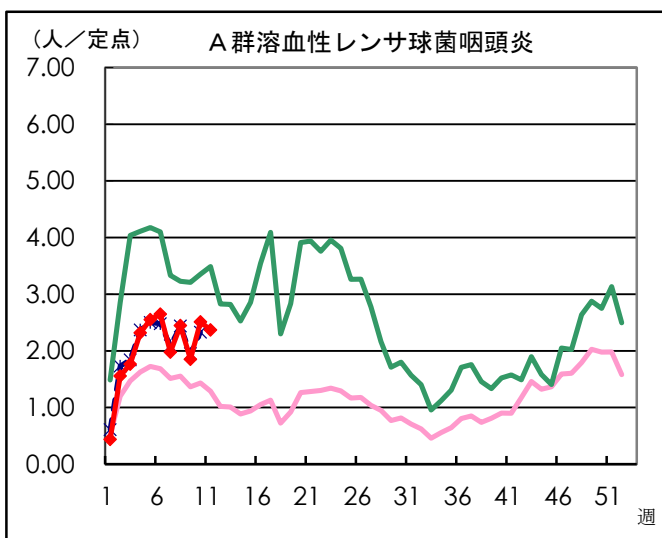
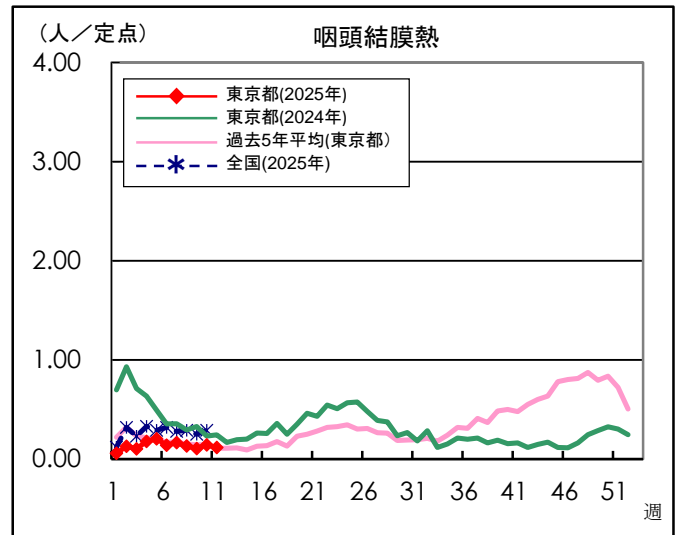
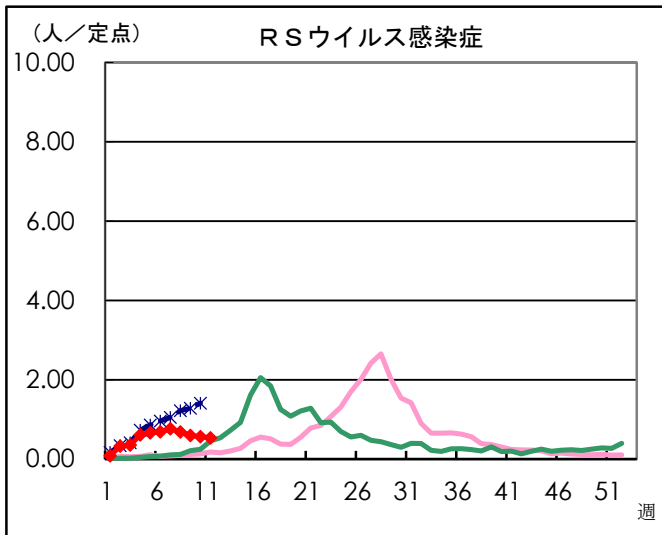
	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹						
	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院	COVID -19 入院
千代田	5	13									3
中央区	2	2									
みなと	37	16								2	
新宿区	11	28		1							7
文京	13	13					1				7
台東	8	17									
墨田区	14	19						1			4
江東区	30	18		1							
品川区	15	25									
目黒区	15	13									
大田区	49	48									
世田谷	38	77		2							4
渋谷区	5	15		1							
中野区	14	43									
杉並	26	36					1				9
池袋	15	30		2					3		
北区	16	45									
荒川区	44	18									
板橋区	24	35									
練馬区	31	69		2							
足立	31	66									
葛飾区	21	32		2					2		9
江戸川	79	50		7							
八王子市	21	58									7
町田市	14	26									
西多摩	26	33					1			1	5
南多摩	21	34									
多摩立川	53	73									1
多摩府中	112	94		1						5	14
多摩小平	73	81		1			1		1		9
島しょ	2	6									

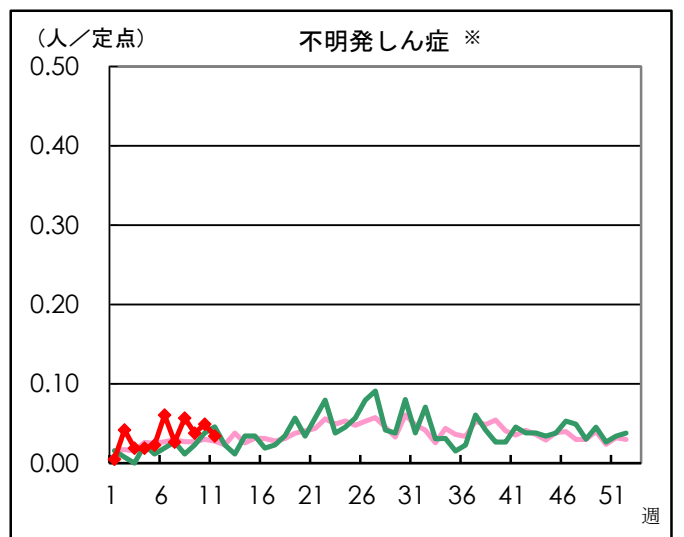
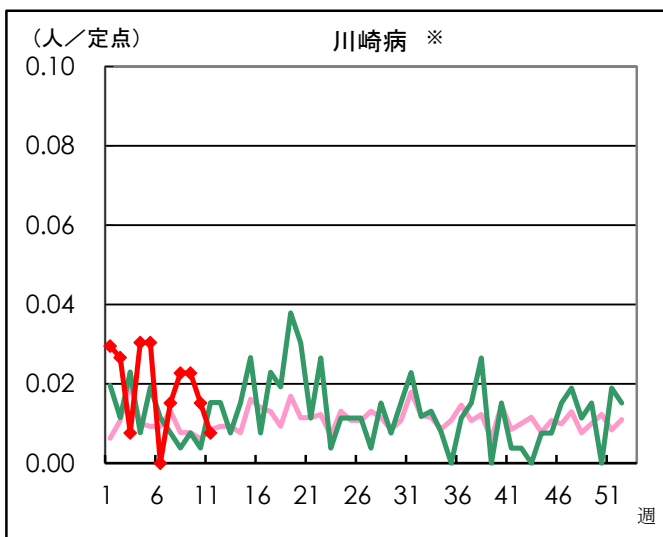
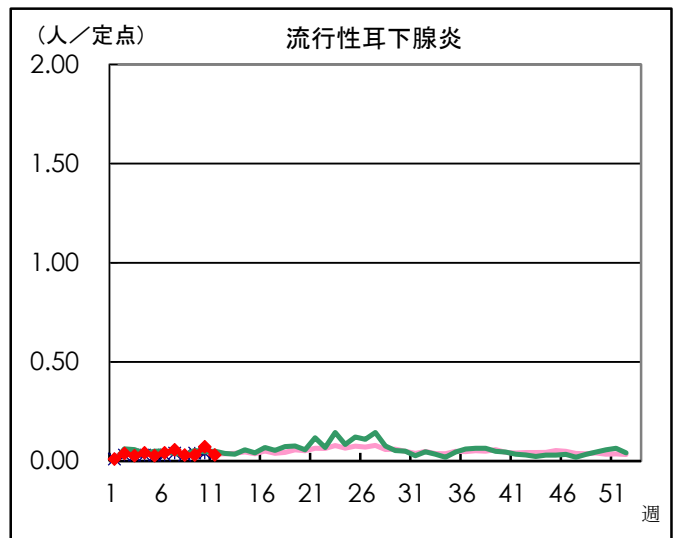
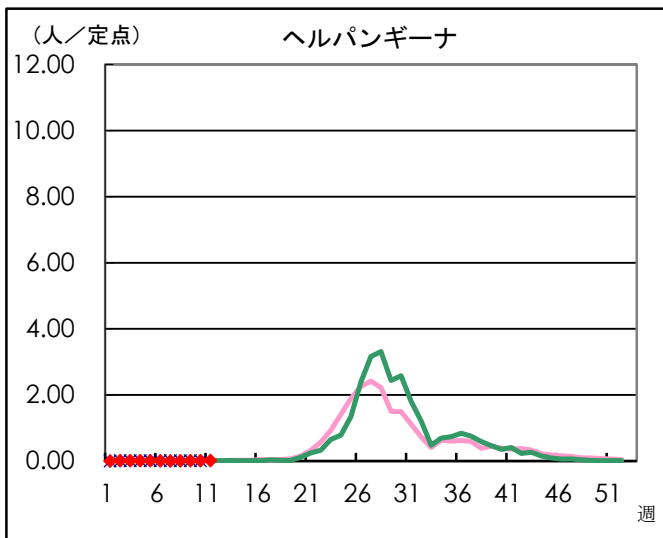
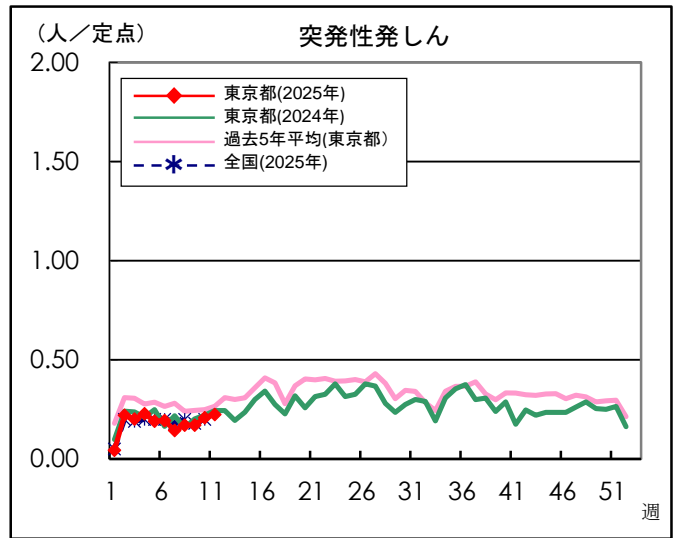
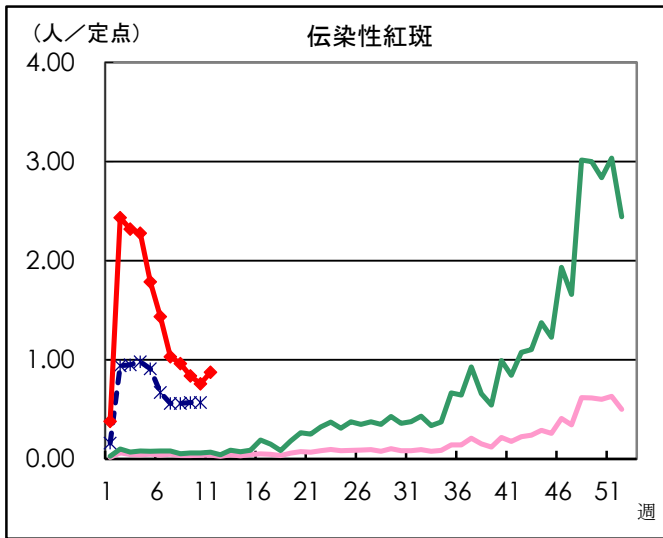
東京都合計	865	1,133		20			3	1	7	8	79
-------	-----	-------	--	----	--	--	---	---	---	---	----

注: 表中グレー部分は該当する定点医療機関がない。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2025年11週 現在)

◆小児科定点

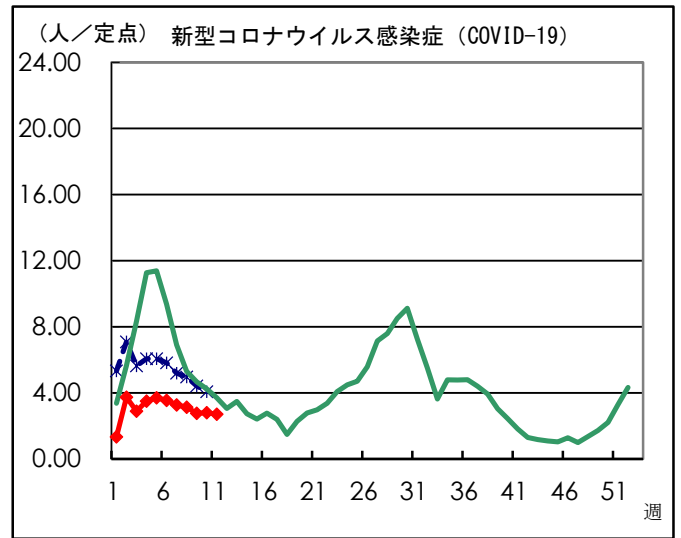
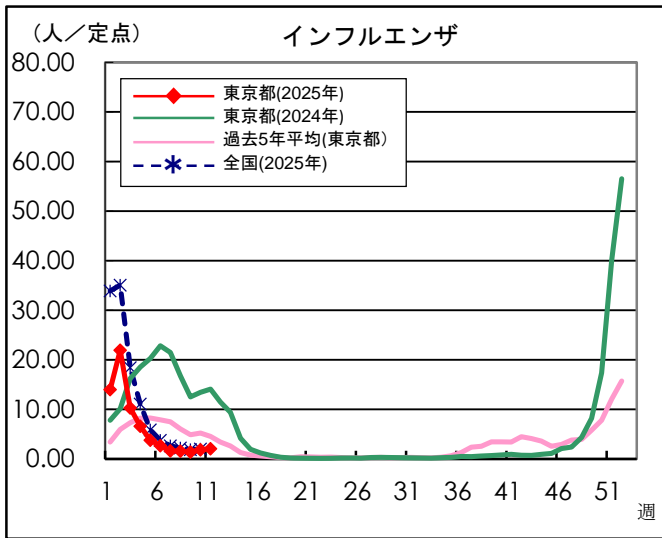




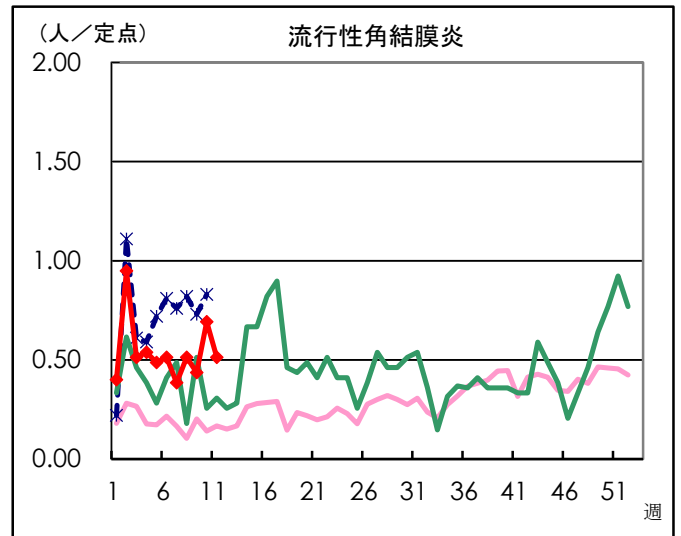
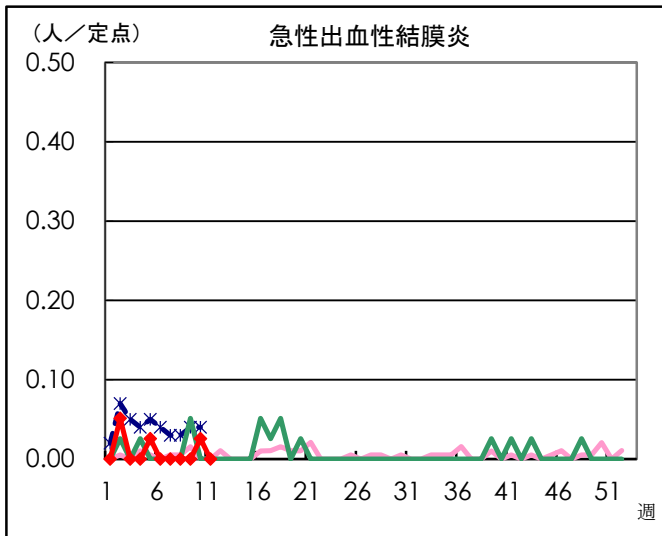
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

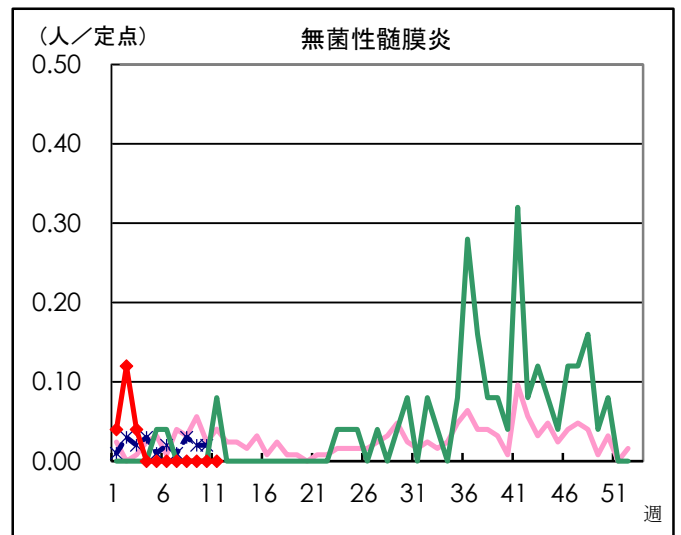
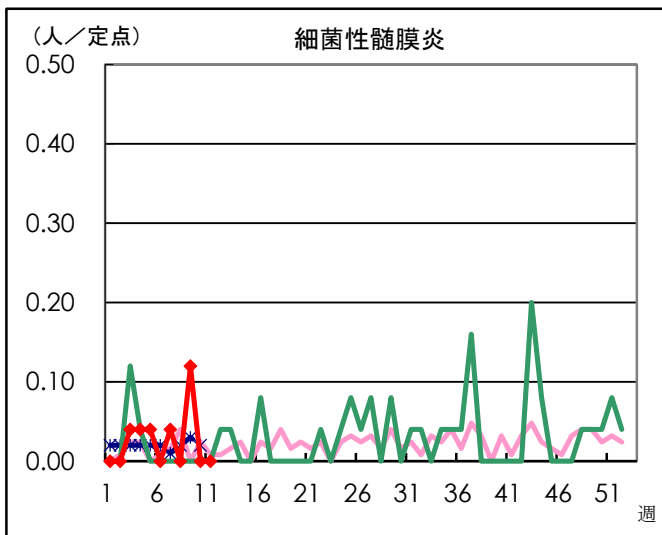
◆インフルエンザ/COVID-19定点



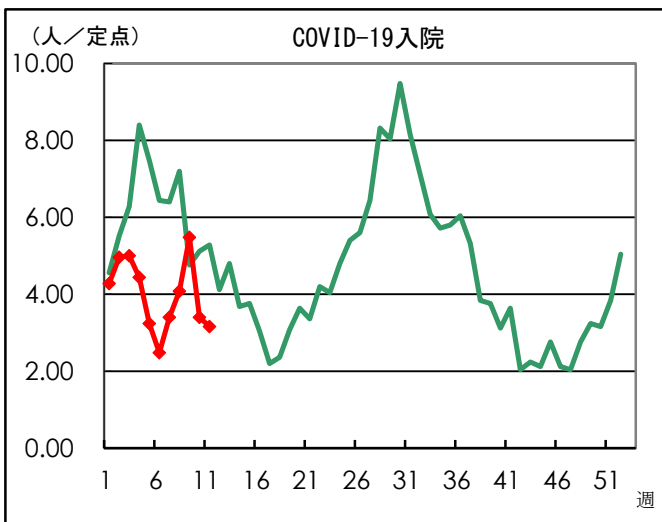
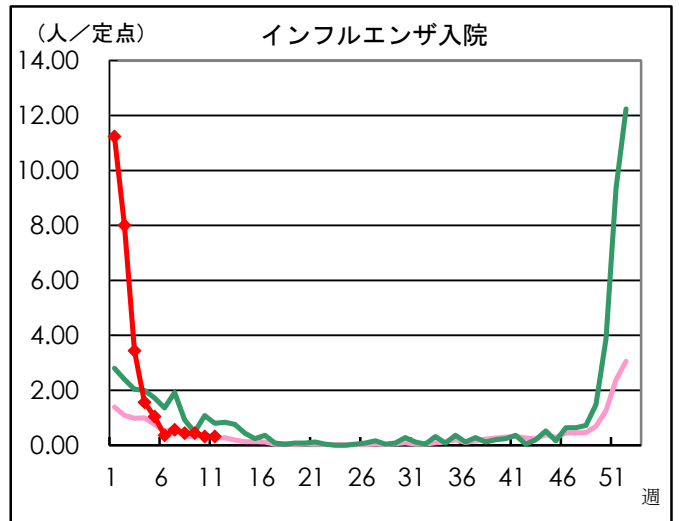
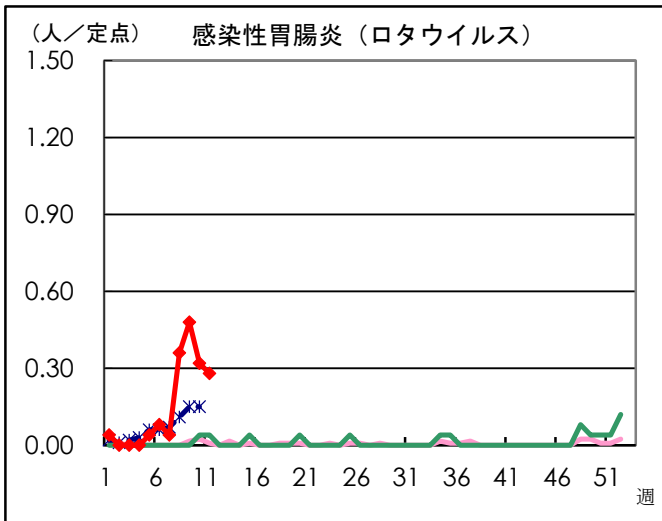
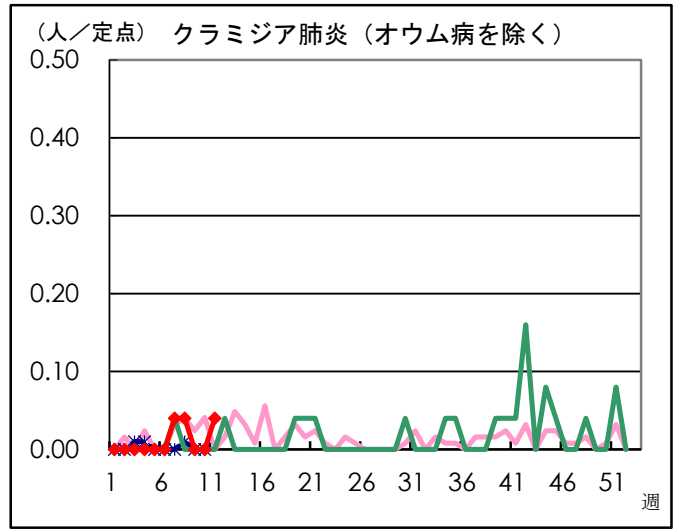
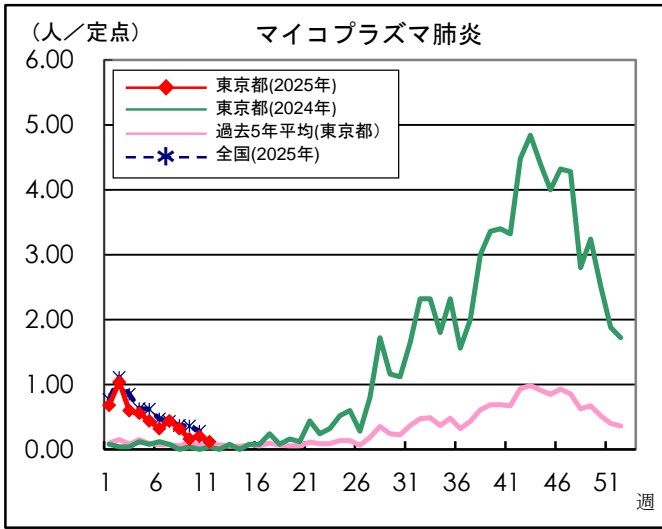
◆眼科定点



◆基幹定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
2/20	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-3型
2/20	突発性発しん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2025年9週	1	2	1	
2024-2025年 シーズン累計*	221	42	15	

* 2024-2025年シーズンの開始は第36週(2024年9月2日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2025年							
	02週	03週	04週	05週	06週	07週	08週	09週
アデノウイルス	1	1	1	3	2	2	1	
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	1	1	1	1		1	1	
ヒトメタニューモウイルス					2			
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型				3			1	1
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19	2		2		1		1	
RSウイルス			1				1	
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	19	15	15	13	6		3	1
インフルエンザウイルスAH3亜型	5	1	3	3	6	2	3	2
インフルエンザウイルスB型Victoria系統			2	1	2	2	3	1
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2	4	1			1	2	2	
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-3型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-4型					3	1		
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能				1				
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2025年02週～2025年09週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	1	10				7	5	1	1		10	110	33	1	10		1		
アデノウイルス		1											2	1		7				
コクサッキーウイルスA群																				
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス													2	4						
ヒトメタニューモウイルス	1												1							
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								2												
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風疹ウイルス																				
風疹1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19							5													
RSウイルス	1							1												
ノロウイルス																				
ロタウイルス																				
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													69	3						
インフルエンザウイルスAH3亜型													24	1						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													10	1						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2													5	5						
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-4型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型																				
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																				
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			1																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

百日咳と妊娠中のワクチン接種

RS ウイルスワクチンの妊婦への接種が 2024 年に我が国でも始まった。新生児は自身の免疫力が十分ではないため母体から経胎盤的、経母乳的に移行した抗体等で感染から守られている。この仕組みを利用して、RS ウイルス感染から新生児を防御しようというのが RS ウイルスワクチンの妊婦への接種である。一方、米国をはじめ多くの国では百日咳に対して同様の対策が取られている。生後 3 カ月以内の百日咳感染は重症化リスクが大きいためである。

現在百日咳に対する定期予防接種として乳幼児期に DPT（三種混合ワクチン）、2012 年以降は DPT-IPV（四種混合ワクチン）の接種が行われている。しかし、妊娠する頃には百日咳に対する免疫効果は低下しており児への受動免疫は期待できない。妊娠中の百日咳ワクチン接種は、移行抗体により新生児を守ることに加え、産後母体が百日咳に感染し新生児にうつすことを防止する効果もある。なお百日咳ワクチンの効果は、短期間しか持続しないため妊娠ごとに接種する必要がある。

海外で妊娠中の百日咳ワクチンとして使用されている Tdap（成人用百日咳ジフテリア破傷風混合ワクチン）は、我が国では未承認である。そこで、希望する妊婦には DPT を使用することになるが、妊婦への安全性は確立していないことへの同意を得てから接種する。また Tdap と RS ウイルスワクチンとの同時接種では百日咳に対する効果が減弱するという報告があるため、DPT を用いる場合も接種時期を調整する。

他に海外では B 群溶連菌（GBS）、サイトメガロウイルスに対する妊娠中のワクチン接種について検討が進んでいる。両者とも児へのインパクトが大きい病原体であり、結果が待たれるところである。

（文責 恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院

副院長・産婦人科部長 山下隆博）